

【2022年度（令和4年度） 授業評価・満足度調査集計結果（全開講科目）】

<前期>

■開講科目数内訳（学外実習は除く）

	開講科目数 (アンケート対象科目)	アンケート 実施科目数	実施率
生活文化学科	71	71	100.0%
幼児教育学科第1部	59	59	100.0%
幼児教育学科第3部	91	91	100.0%
全学科	221	221	100.0%

※補足

①本校の授業評価アンケートは専攻・コース・クラスごとに集計しているため、合併での開講科目でも専攻もしくはクラス数分にわけている（オムニバス形式のものは全学科で集計しているが、本結果では専攻もしくはクラス数分にわけている）

②5名未満の科目も含まれている

③通年科目および半期（前期）に授業が終了していない科目は後期に授業評価アンケートを実施予定のため、開講科目数に含んでいない

■回答者数・回答率

	全受講者数	回答者数	回答率
生活文化学科	1,541	1,415	91.8%
幼児教育学科第1部	1,491	1,313	88.1%
幼児教育学科第3部	2,292	2,004	87.4%
全学科	5,324	4,732	88.9%

■質問項目

※設問の選択項目右括弧内数字は平均値を求めるために数値化したものである

1. あなたにとってこの授業の進度は適切でしたか。

	遅い(5)	やや遅い(4)	適切(3)	やや速い(2)	速い(1)	平均値
生活文化学科	5(0.4)	34(2.4)	1,184(83.7)	161(11.4)	31(2.2)	2.87
幼児教育学科第1部	3(0.2)	19(1.4)	1,067(81.3)	200(15.2)	24(1.8)	2.83
幼児教育学科第3部	4(0.2)	20(1.0)	1,592(79.4)	325(16.2)	63(3.1)	2.79
全学科	12(0.3)	73(1.5)	3,843(81.2)	686(14.5)	118(2.5)	2.83

※数字は人数(%)を示す

2. あなたにとってこの授業の難易度は適切でしたか。

	易しい(5)	やや易しい(4)	適切(3)	やや難しい(2)	難しい(1)	平均値
生活文化学科	14(1.0)	45(3.2)	878(62.0)	355(25.1)	123(8.7)	2.63
幼児教育学科第1部	9(0.7)	25(1.9)	955(72.7)	252(19.2)	72(5.5)	2.73
幼児教育学科第3部	27(1.3)	37(1.8)	1,385(69.1)	421(21.0)	134(6.7)	2.70
全学科	50(1.1)	107(2.3)	3,218(68.0)	1,028(21.7)	329(7.0)	2.69

※数字は人数(%)を示す

3. 授業はシラバス（授業概要、到達目標、授業計画）に沿って行われましたか。

	行われた(6)	ある程度行われた(5)	どちらともいえない(4)	あまり行われなかった(3)	行われなかった(2)	シラバスを見ていない(1)	平均値
生活文化学科	656(46.4)	265(18.7)	51(3.6)	12(0.8)	2(0.1)	429(30.3)	4.19
幼児教育学科 第1部	656(50.0)	266(20.3)	47(3.6)	11(0.8)	5(0.4)	328(25.0)	4.44
幼児教育学科 第3部	1,111(55.4)	326(16.3)	91(4.5)	8(0.4)	2(0.1)	466(23.3)	4.57
全学科	2,423(51.2)	857(18.1)	189(4.0)	31(0.7)	9(0.2)	1,223(25.8)	4.40

※数字は人数(%)を示す

4. 担当教員は、受講生の理解度を確かめながら授業を進めていましたか。

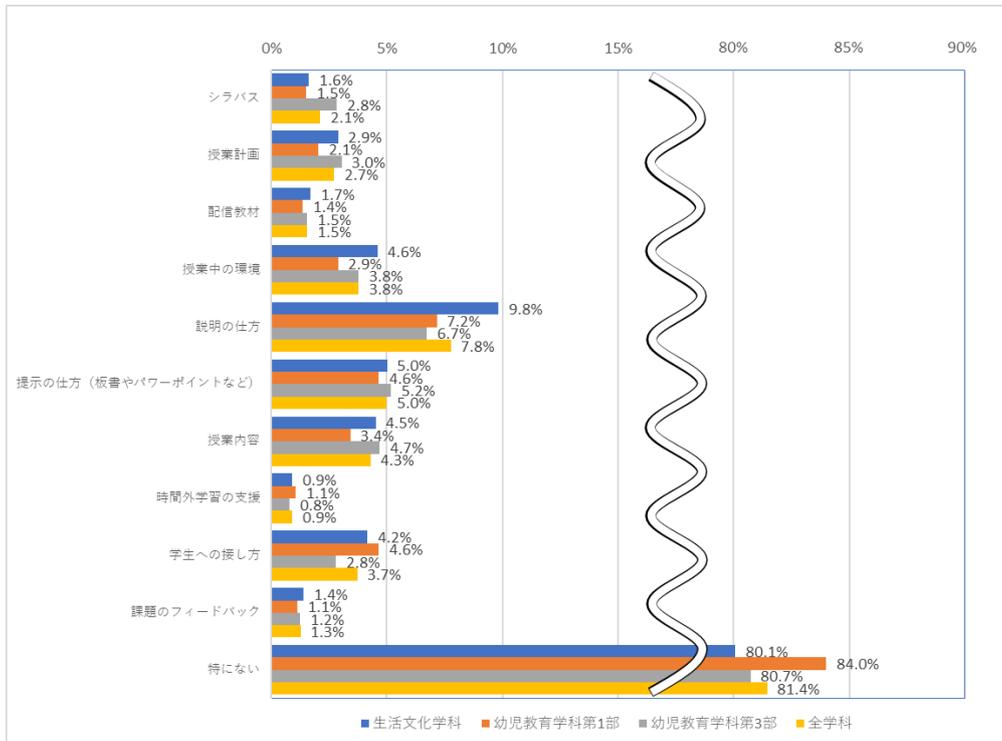
	進めていた(5)	ある程度進めていた(4)	どちらともいえない(3)	あまり進めていなかった(2)	進めていなかった(1)	平均値
生活文化学科	759(53.6)	431(30.5)	174(12.3)	45(3.2)	6(0.4)	4.34
幼児教育学科 第1部	714(54.4)	406(30.9)	135(10.3)	40(3.0)	18(1.4)	4.34
幼児教育学科 第3部	1,196(59.7)	543(27.1)	194(9.7)	57(2.8)	14(0.7)	4.42
全学科	2,669(56.4)	1,380(29.2)	503(10.6)	142(3.0)	38(0.8)	4.37

※数字は人数(%)を示す

5. この授業で工夫してほしいと思うものをすべて選んでください（複数回答可）。

	シラバス	授業計画	配信教材	授業中の環境	説明の仕方	提示の仕方	授業内容	時間外学習の支援	学生への接し方	課題のフィードバック	特にない
生活文化学科	23	41	24	65	139	71	64	13	59	20	1,133
幼児教育学科 第1部	20	27	18	38	94	61	45	14	61	15	1,103
幼児教育学科 第3部	57	61	31	76	135	104	94	16	56	25	1,618
全学科	100	129	73	179	368	236	203	43	176	60	3,854

※数字は人数を示す



6. 予習復習、準備、課題のために、授業1回あたり平均してどの程度授業時間以外に費やしましたか。

	予習・復習を全くしなかった(6)	30分未満(5)	30分～1時間未満(4)	1～2時間未満(3)	2～3時間未満(2)	3時間以上(1)	平均値
生活文化学科	594(42.0)	425(30.0)	246(17.4)	96(6.8)	19(1.3)	35(2.5)	4.97
幼児教育学科第1部	541(41.2)	486(37.0)	206(15.7)	54(4.1)	17(1.3)	9(0.7)	5.10
幼児教育学科第3部	778(38.8)	730(36.4)	323(16.1)	106(5.3)	33(1.6)	34(1.7)	5.00
全学科	1,913(40.4)	1,641(34.7)	775(16.4)	256(5.4)	69(1.5)	78(1.6)	5.02

※数字は人数(%)を示す

7. この授業について意欲的に取り組みましたか。

	意欲的に取り組んだ(5)	ある程度意欲的に取り組んだ(4)	どちらともいえない(3)	あまり意欲的に取り組んでいない(2)	意欲的に取り組んでいない(1)	平均値
生活文化学科	716(50.6)	514(36.3)	146(10.3)	33(2.3)	6(0.4)	4.34
幼児教育学科第1部	632(48.1)	539(41.1)	117(8.9)	15(1.1)	10(0.8)	4.35
幼児教育学科第3部	1,202(60.0)	653(32.6)	130(6.5)	17(0.8)	2(0.1)	4.51
全学科	2,550(53.9)	1,706(36.1)	393(8.3)	65(1.4)	18(0.4)	4.40

※数字は人数(%)を示す

8. あなたは、この授業の到達目標をどの程度達成しましたか。

	達成できた(5)	ある程度達成できた(4)	あまり達成できなかった(3)	達成できなかった(2)	到達目標を知らない(1)	平均値
生活文化学科	474(33.5)	603(42.6)	111(7.8)	12(0.8)	215(15.2)	3.78
幼児教育学科 第1部	419(31.9)	665(50.6)	69(5.3)	6(0.5)	154(11.7)	3.91
幼児教育学科 第3部	807(40.3)	837(41.8)	123(6.1)	9(0.4)	228(11.4)	3.99
全学科	1,700(35.9)	2,105(44.5)	303(6.4)	27(0.6)	597(12.6)	3.89

※数字は人数(%)を示す

9. 総合的に判断して、この授業は意義のあるものでしたか。

	そう思う(5)	ややそう思う(4)	どちらともいえない(3)	あまり意義あるものでなかった(2)	意義のあるものでなかった(1)	平均値
生活文化学科	896(63.3)	388(27.4)	103(7.3)	20(1.4)	8(0.6)	4.52
幼児教育学科 第1部	896(68.2)	291(22.2)	95(7.2)	20(1.5)	11(0.8)	4.55
幼児教育学科 第3部	1,461(72.9)	412(20.6)	109(5.4)	14(0.7)	8(0.4)	4.65
全学科	3,253(68.7)	1,091(23.1)	307(6.5)	54(1.1)	27(0.6)	4.57

※数字は人数(%)を示す

令和4年度 前期授業評価アンケート結果の総評

★実施期間：前期各授業の最終時間

★調査方法： Web・Forms

★対象学科：全学科・3学科2専攻

(幼児教育学科1部、幼児教育学科3部、生活文化学科食物栄養専攻・生活文化専攻)

★アンケート数：

項目	総科目数	受講者数	回答者数	回答率・%	未回答率・%
令和4年(2022)前期	221	5324	4732	88.9	11.1

【総評】

学生による授業調査（授業評価アンケート）は、「学生の授業満足度を高めるとともに、教育の評価と質保証・向上に向けての重要なファクターであり、継続的な実施と積重ね」が求められます。世界に蔓延した新型コロナウイルスの感染は、日本の高等教育機関においても教育環境を大きく変え、これまでの対面授業からリモート授業へと大きな変革となった。しかしながら、本学においては「学生の声を聴くこと」は重要であることから年2回の授業評価アンケートを実施している。

今期のアンケート（授業評価アンケート）は、コロナ禍であっても回答率88.9%となっており『概ね良い』結果となっている。そして、今後のPDCAサイクルに基づく改革・改善に結びつく数値であるので大いに期待したい。

各設問の着眼点等は以下である。

【質問項目 1】「あなたにとってこの授業の進度は適切でしたか。」

全体の81.2%の学生は「適切」で、「やや速い」は14.5%であった。このことから、教員は学生の理解度等を把握した進度である。

【質問項目 2】「あなたにとってこの授業の難易度は適切でしたか。」

全体の68.0%の学生は「適切」で、「やや難しい」は21.7%であった。「やや難しい」「難しい」で28.7%(全体の1/4)の学生がいることを授業担当者は認識し、学生の理解度や時代の変化に対応した教材等を今一度検討を要することに期待したい。

【質問項目 3】「授業はシラバス（授業概要、達成目標、授業計画）に沿って行われましたか。」

学生の51.2%はシラバスに沿った授業が「行われた」と回答し、18.1%は「ある程度行われた」と回答している（70%に近い学生は良い評価している）が、一方、25.8%の学生は「シラバスを見ていない」とあり、この点の改善に今後期待したい。

【質問項目 4】「担当教員は、受講者の理解度を確かめながら授業を進めていますか。」

教員は、学生の理解度を確認して授業を行なっていることが解り（「進めていた(56.4%)、ある程度進めていた(29.2%)」）、非常に良い結果となっている。

【質問項目 5】「この授業で工夫してほしいと思うものをすべて選んでください(複数回答可)。

学生の声が多い5点は、以下である。

- ① 説明の仕方
- ② 提示の仕方
- ③ 授業内容
- ④ 授業中の環境
- ⑤ 学生への接し方

この回答から判ることは、質問4の学生の理解度の確認「進めていた(56.4%)」、「ある程度進めていた(29.2%)」との矛盾が生じていることに着目したい。言い換えれば、更なる「授業方法等の改善」に期待したい。なお、「特にない(81.4%)」と回答した学生が多数いることも列記したい。

【質問項目 6】「予習復習、準備、課題のため、授業1回あたり平均してどの程度授業時間以外に費やしましたか。」

「予習・復習を全くしなかった(40.4%)」「30分未満(34.7%)」、計75.1%にのぼる数値であることを教職員は再認識することが肝要である。但し、全国の短期大学生の状況を調査することも必要である。

【質問項目 7】「この授業について意欲的に取り組みましたか。」

「意欲的に取り組んだ(53.9%)」「ある程度意欲的に取り組んだ(36.1%)」、計90.0%に及ぶ学生が授業に意欲的に取り組んでいるようであるが、質問項目6との矛盾が生じるので、今後の課題となるのではないか。

【質問項目 8】「あなたは、この授業の達成目標をどの程度達成しましたか。」

「達成できた(35.9%)」「ある程度達成できた(44.5%)」、計80.4%との回答である。しかし、教員が目標としている達成度と学生の達成度を測ることも大切な事項である。しかし、学生の達成度が高いことは非常に悦ばしいことである。

【質問項目 9】「総合的に判断して、この授業は意義のあるものでしたか。」

「そう思う(68.7%)」「ややそう思う(23.1%)」、計92.7%であることは意義あると判断できる。また、学生の満足度が高く非常に悦ばしいことである。しかし、来るべき就職活動等で他大学の学生との競争が待ち構えていることを全学的に認識することに期待したい。

★次への取組み

- ① 自学自習（予習、復習）が大切であることをクラス担任から丁寧に伝える。
- ② シラバスの活用等をガイダンスで懇切丁寧に説明する。
- ③ 授業担当者は、アクティブラーニング、映像、ネット等の利用を促す。

<後期>

■開講科目数内訳（学外実習は除く）

	開講科目数 (アンケート対象科目)	アンケート 実施科目数	実施率
生活文化学科	79	79	100.0%
幼児教育学科第1部	58	58	100.0%
幼児教育学科第3部	96	94	97.9%
全学科	233	231	99.1%

※補足

- ①本校の授業評価アンケートは専攻・コース・クラスごとに集計しているため、合併での開講科目でも専攻もしくはクラス数分にわけている（オムニバス形式のものは全学科で集計しているが、本結果では専攻もしくはクラス数分にわけている）
- ②5名未満の科目も含まれている
- ③通年科目および半期（前期）に授業が終了していない科目は後期に授業評価アンケートを実施予定のため、開講科目数に含んでいない

■回答者数・回答率

	全受講者数	回答者数	回答率
生活文化学科	1,653	1,304	78.9%
幼児教育学科第1部	1,403	1,169	83.3%
幼児教育学科第3部	2,081	1,608	77.3%
全学科	5,137	4,081	79.4%

■質問項目

※設問の選択項目右括弧内数字は平均値を求めるために数値化したものである

1. あなたにとってこの授業の進捗は適切でしたか。

	遅い(5)	やや遅い(4)	適切(3)	やや速い(2)	速い(1)	平均値
生活文化学科	1(0.1)	9(0.7)	1,156(88.7)	120(9.2)	18(1.4)	2.89
幼児教育学科第1部	13(1.1)	45(3.8)	930(79.6)	164(14.0)	17(1.5)	2.89
幼児教育学科第3部	2(0.1)	10(0.6)	1,400(87.1)	176(10.9)	20(1.2)	2.87
全学科	16(0.4)	64(1.6)	3,486(85.4)	460(11.3)	55(1.3)	2.88

※数字は人数(%)を示す

2. あなたにとってこの授業の難易度は適切でしたか。

	易しい(5)	やや易しい(4)	適切(3)	やや難しい(2)	難しい(1)	平均値
生活文化学科	8(0.6)	26(2.0)	902(69.2)	288(22.1)	80(6.1)	2.69
幼児教育学科第1部	17(1.5)	26(2.2)	848(72.5)	217(18.6)	61(5.2)	2.76
幼児教育学科第3部	23(1.4)	31(1.9)	1,193(74.2)	283(17.6)	78(4.9)	2.77
全学科	48(1.2)	83(2.0)	2,943(72.1)	788(19.3)	219(5.4)	2.74

※数字は人数(%)を示す

3. 授業はシラバス（授業概要、到達目標、授業計画）に沿って行われましたか。

	行われた(6)	ある程度行われた(5)	どちらともいえない(4)	あまり行われなかった(3)	行われなかった(2)	シラバスを見ていない(1)	平均値
生活文化学科	677(51.9)	183(14.0)	43(3.3)	4(0.3)	4(0.3)	393(30.1)	4.27
幼児教育学科 第1部	564(48.2)	241(20.6)	43(3.7)	4(0.3)	3(0.3)	314(26.9)	4.36
幼児教育学科 第3部	977(60.8)	235(14.6)	59(3.7)	1(0.1)	3(0.2)	333(20.7)	4.74
全学科	2,218(54.3)	659(16.1)	145(3.6)	9(0.2)	10(0.2)	1,040(25.5)	4.48

※数字は人数(%)を示す

4. 担当教員は、受講生の理解度を確かめながら授業を進めていましたか。

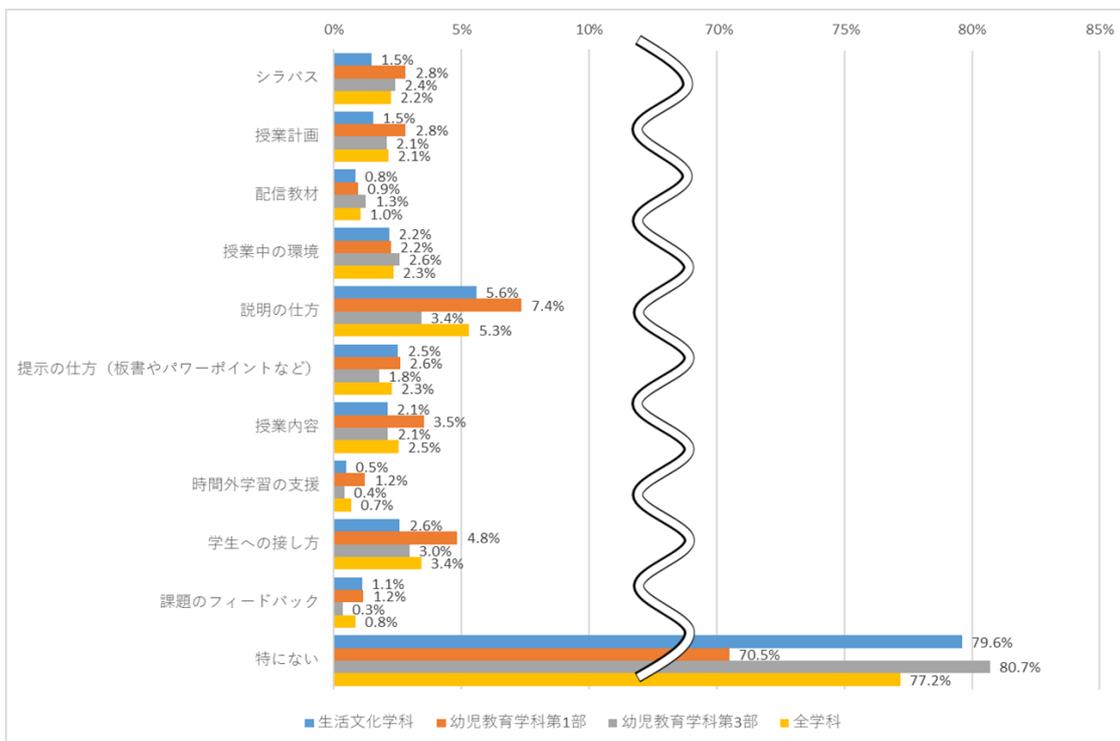
	進めていた(5)	ある程度進めていた(4)	どちらともいえない(3)	あまり進めていなかった(2)	進めていなかった(1)	平均値
生活文化学科	824(63.2)	338(25.9)	114(8.7)	14(1.1)	14(1.1)	4.49
幼児教育学科 第1部	604(51.7)	360(30.8)	144(12.3)	38(3.3)	23(2.0)	4.27
幼児教育学科 第3部	1,083(67.4)	364(22.6)	136(8.5)	16(1.0)	9(0.6)	4.55
全学科	2,511(61.5)	1,062(26.0)	394(9.7)	68(1.7)	46(1.1)	4.45

※数字は人数(%)を示す

5. この授業で工夫してほしいと思うものをすべて選んでください（複数回答可）。

	シラバス	授業計画	配信教材	授業中の環境	説明の仕方	提示の仕方	授業内容	時間外学習の支援	学生への接し方	課題のフィードバック	特にない
生活文化学科	21	22	12	31	80	36	30	7	37	16	1,139
幼児教育学科 第1部	39	39	13	31	102	36	49	17	67	16	977
幼児教育学科 第3部	42	36	22	45	60	31	37	7	52	6	1,410
全学科	102	97	47	107	242	103	116	31	156	38	3,526

※数字は人数を示す



6. 予習復習、準備、課題のために、授業1回あたり平均してどの程度授業時間以外に費やしましたか。

	予習・復習を全くしなかった(6)	30分未満(5)	30分～1時間未満(4)	1～2時間未満(3)	2～3時間未満(2)	3時間以上(1)	平均値
生活文化学科	474(36.3)	469(36.0)	224(17.2)	97(7.4)	20(1.5)	20(1.5)	4.94
幼児教育学科第1部	484(41.4)	353(30.2)	198(16.9)	75(6.4)	25(2.1)	34(2.9)	4.94
幼児教育学科第3部	593(36.9)	535(33.3)	319(19.8)	118(7.3)	21(1.3)	22(1.4)	4.93
全学科	1,551(38.0)	1,357(33.3)	741(18.2)	290(7.1)	66(1.6)	76(1.9)	4.93

※数字は人数(%)を示す

7. この授業について意欲的に取り組みましたか。

	意欲的に取り組んだ(5)	ある程度意欲的に取り組んだ(4)	どちらともいえない(3)	あまり意欲的に取り組んでいない(2)	意欲的に取り組んでいない(1)	平均値
生活文化学科	764(58.6)	418(32.1)	106(8.1)	13(1.0)	3(0.2)	4.48
幼児教育学科第1部	594(50.8)	425(36.4)	120(10.3)	23(2.0)	7(0.6)	4.35
幼児教育学科第3部	1,000(62.2)	501(31.2)	89(5.5)	12(0.7)	6(0.4)	4.54
全学科	2,358(57.8)	1,344(32.9)	315(7.7)	48(1.2)	16(0.4)	4.47

※数字は人数(%)を示す

8. あなたは、この授業の到達目標をどの程度達成しましたか。

	達成できた(5)	ある程度達成できた(4)	あまり達成できなかった(3)	達成できなかった(2)	到達目標を知らない(1)	平均値
生活文化学科	554(42.5)	469(36.0)	61(4.7)	4(0.3)	216(16.6)	3.88
幼児教育学科 第1部	467(39.9)	491(42.0)	43(3.7)	11(0.9)	157(13.4)	3.94
幼児教育学科 第3部	763(47.5)	575(35.8)	71(4.4)	19(1.2)	180(11.2)	4.07
全学科	1,784(43.7)	1,535(37.6)	175(4.3)	34(0.8)	553(13.6)	3.97

※数字は人数(%)を示す

9. 総合的に判断して、この授業は意義のあるものでしたか。

	そう思う(5)	ややそう思う(4)	どちらともいえない(3)	あまり意義あるものでなかった(2)	意義のあるものでなかった(1)	平均値
生活文化学科	907(69.6)	311(23.8)	69(5.3)	12(0.9)	5(0.4)	4.61
幼児教育学科 第1部	746(63.8)	300(25.7)	95(8.1)	15(1.3)	13(1.1)	4.50
幼児教育学科 第3部	1,253(77.9)	294(18.3)	46(2.9)	10(0.6)	5(0.3)	4.73
全学科	2,906(71.2)	905(22.2)	210(5.1)	37(0.9)	23(0.6)	4.63

※数字は人数(%)を示す

令和4年度 後期授業評価アンケート結果の総評

★実施期間：後期各授業の最終時間

★調査方法：Web・Forms

★対象学科：全学科・3学科2専攻

(幼児教育学科1部、幼児教育学科3部、生活文化学科食物栄養専攻・生活文化専攻)

★アンケート数：

項目	総科目数	受講者数	回答者数	回答率(%)	未回答率(%)
令和4年(2022)後期	233	5137	4081	99.1	00.9
令和4年(2022)前期	221	5324	4732	88.9	11.1

【総評】

学生による授業評価アンケート（授業調査）は、「学生の授業満足度を高めるとともに、教育の質保証・向上に向けての重要なファクターであることから継続的な実施」が求められています。世界に蔓延した新型コロナウイルスの感染は、日本の高等教育機関においても教育・学習の環境を大きく変えました。しかし、今年度後期から徐々に緩和しています。

本学の前期・後期の授業評価アンケート（授業調査）は、「学生の声を聴く」ことによって、大学教育で最も重要な事項であるPDCAサイクルに基づく改革・改善に結びつくこととしています。

今期の授業評価アンケート（授業調査）は、回答率99.1%(前期88.9%「以下()内は前期の%とする。）」となっており『非常に良い』結果です。

なお、各設問の着眼点等は、以下です。

【質問項目 1】「あなたにとってこの授業の進度は適切でしたか。」

全体の85.4%(81.2%)の学生は「適切」、「やや速い」は11.3(14.5%)であった。このことから、教員は学生の理解度等を把握した進度である。

【質問項目 2】「あなたにとってこの授業の難易度は適切でしたか。」

全体の72.1%(68.0%)の学生は「適切」と回答しており、「やや難しい」では19.3%(21.7%)であった。「やや難しい」「難しい」を合わせると24.7%(28.7%)(全体の1/4以下となった)の学生が前期同様存在することを授業担当者は認識し、学生の理解度や時代の変化に対応した教材選択等を検討することに期待したい。

【質問項目 3】「授業はシラバス（授業概要、達成目標、授業計画）に沿って行われましたか。」

学生の 54.3%(51.2%)はシラバスに沿った授業が「行われた」と回答し、16.1%(18.1%)は「ある程度行われた」と回答している（70%を超える学生は良い評価をしている）。一方で、前期同様に 25.5%(25.8%)の学生は「シラバスを見ていない」とあり、この点の改善に期待したい。

【質問項目 4】「担当教員は、受講者の理解度を確かめながら授業を進めていますか。」

教員は、学生の理解度を確認して授業を行なっていることが解り（「進めていた 61.5%(56.4%)」、「ある程度進めていた 26.0%(29.2%)」）、非常に良い結果となっている。

【質問項目 5】「この授業で工夫してほしいと思うものをすべて選んでください(複数回答可)。

学生の声が多い5点は、以下である。

- ① 説明の仕方(①)
- ② 学生への接し方(⑤)
- ③ 授業内容(③)
- ④ 授業中の環境(④)
- ⑤ 提示の仕方(②)

この回答から判ることは、質問4の「学生の理解度の確認（説明の仕方）」との矛盾が今期も生じている。言い換えれば、更なる「授業方法等の改善」に期待したい。なお、「特にない 77.2%(81.4%)」と回答した学生が多数いることも列記したい。また、「学生への接し方」が2番目あることは、教員と学生との関係に注視することが求められる。

【質問項目 6】「予習復習、準備、課題のため、授業1回あたり平均してどの程度授業時間以外に費やしましたか。」

「予習・復習を全くしなかった 38.0%(40.4%)」「30分未満 33.3%(34.7%)」、計 71.3%(75.1%)にのぼる割合であることを教職員は再認識し、事前事後の学習を促すことが肝要である。但し、全国の短期大学生の状況を調査することも必要である。

【質問項目 7】「この授業について意欲的に取り組みましたか。」

「意欲的に取り組んだ 57.8%(53.9%)」「ある程度意欲的に取り組んだ 32.9%(36.1%)」計 90.7%(90.0%)に及ぶ学生が授業に意欲的に取り組んでいるようである。しかし前期同様、質問項目6との矛盾が生じるので、今後の課題となるのではないか。

【質問項目 8】「あなたは、この授業の達成目標をどの程度達成しましたか。」

「達成できた 43.7%(35.9%)」「ある程度達成できた 37.7%(44.5%)」、計 81.4%(80.4%)との回答である。教員と学生の満足度の差異があるのではないか。これを何らかの方法で知る必要である。しかし、学生の達成度が高い回答していることは非常に悦ばしいことである。

【質問項目 9】「総合的に判断して、この授業は意義のあるものでしたか。」

「そう思う 71.2%(68.7%)」「ややそう思う 22.2%(23.1%)」、計 93.4%(92.7%)であることは意義あると判断できる。しかし、就職活動において、他大学の学生間競争が待ち構えていることを認識することに期待したい。

★次年度への取組み

- ① 事前事後の学習（予習、復習）が大切であることを周知する。
- ② 授業とシラバスの差異に努めること。
- ③ 授業担当者は、学生の理解度を確認して授業を進める。